

■はじめに

本ドキュメントでは、Axis ネットワークカメラのファームウェア v6.5x 以降で、指定された曜日と時間帯に画像を添付したメールを送信するための設定方法を説明します。

設定手順

■手順 1: Axis ネットワークカメラの設定ページにアクセスする

1. Chrome™ や Firefox® などの Web ブラウザから、お使いの Axis ネットワークカメラ(以下「カメラ」と呼ぶ)へアクセスします。
2. 管理者権限のユーザー(root)でログインします。
3. 画面右下の「設定」をクリックし、「システム」タブをクリックします。
※ ファームウェア v6.5x では画面右上の「Setup」をクリックして、左ペインにある「System Options」- 「Network」 - 「TCP/IP」 - 「Advanced」へアクセスします。

■手順 2: ネットワーク (TCP/IP) の設定

1. 「システム」タブ内の「TCP/IP」をクリックし、ページ内の**現在のネットワーク設定**をクリックして**プライマリ DNS サーバー**および**セカンダリ DNS サーバー**が設定されていることを確認します。
※ ファームウェア v6.5x では **DNS Configuration** メニューで DNS の設定を確認します。
2. もし設定されていない場合は、ページ内の **IPv4** メニューから以下のように、カメラが参照できる DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
設定すべき値が不明な場合は、同一ネットワークにある PC の設定を参照して下さい。PC のネットワーク設定を確認するには、コマンドプロンプトを起動して `ipconfig /all` コマンドを実行します。



※ ファームウェア v6.5x の場合も、同様に適切な DNS の設定を行って下さい。

■手順 3 : 日付と時刻の設定

スケジュールイベントを実行するためには、カメラの日付と時刻が正しく設定されている必要があります。

1. 「システム」タブ内の「日付と時刻」をクリックし、NTP サーバーが使用できる環境では**日付と時刻の自動設定**をオンにします。NTP サーバーの IP アドレスを DHCP で自動取得できない場合は、手動で IP アドレスを入力します。

NTP サーバーが使用できない環境では**日付と時刻の自動設定**をオフにし、正しい日付と時刻を入力します。

※ ファームウェア v6.5x では、左ペインにある「System Options」-「Date & Time」の **Time mode** を以下から選択します。

Synchronize with computer time

「Save」をクリックした時に一度だけ、お使いの PC と日付・時刻をあわせませます。

Synchronize with NTP server

NTP サーバーと同期する方法です。同期先 NTP サーバーのアドレスを設定するには、リンク「No server specified」をクリックし、**NTP Configuration** 欄にアドレスを入力して下さい。

Set manually

手動で日付と時刻を設定します。

2. タイムゾーンを正しいエリアに設定します。日本で使用する場合は、**GMT+09 (大阪、札幌、東京、ソウル)**です。

※ ファームウェア v6.5x も同様に Time zone は GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul) となります。

■手順 4 : SMTP サーバーの設定

ご利用になる SMTP サーバー(送信メールサーバー)の情報を登録します。

1. 「システム」タブ内の「イベント」をクリックし、表示されたダイアログ「Events」の「Recipients」をクリックし、ダイアログの左下にある「Add…」をクリックします。

※ ファームウェア v6.5x では、左ペインにある「Events」-「Recipients」をクリックし、「Add…」をクリックします。

2. 表示されたダイアログ「Recipient Setup」で以下の項目を設定します。

Name

送信情報の名前を任意で設定します(半角英数)。

Type

Email を選択します。

To

送信先の電子メールアドレスを入力します。複数のアドレスに送信する場合は、カンマを使用して電子メールアドレスを区切ります。

Provider

リストから、**Gmail** や **Yahoo** などのプロバイダを選択します。独自の送信メールサーバーを使用する場合は、**User defined** を選択し、詳細を **Advanced settings** で設定します。

User id / Password

送信メールサーバーのログイン情報を入力します。

Advanced settings では、独自の送信メールサーバーに関する情報を入力します。設定内容が不明な場合は、お使いのメールサーバーの管理者へお尋ね下さい。

From email

送信メールサーバーにおける電子メールアドレスを入力します。

SMTP Server

SMTP サーバーの名前を入力します。

Port

SMTP サーバーのポート番号を入力します。

Select authentication to use

使用する認証方法を選択します。**SMTP** もしくは **POP** が選択できます。POP の場合は POP サーバーの名前を入力します。

Encryption

暗号化を使用する場合は **TLS** もしくは **SSL** を選択します。サーバー証明書の検証を行う場合は **Validate server certificate** にチェックを入れます。

The screenshot shows a 'Recipient Setup' dialog box. It has the following fields and options:

- Name:** New Recipient
- Type:** Email
- To:** @axiscom.co.jp
- Email Server Settings:**
 - Provider:** User defined
- User authentication:**
 - User id:** [redacted]
 - Password:** [redacted]
- Advanced settings:** (checked)
- From email:** @axis.com
- SMTP server:** smtp.axis.com
- Port:** 587
- Select authentication to use:**
 - SMTP
 - POP
 - Server:** [redacted]
- Encryption:** TLS
- Validate server certificate

At the bottom, there is a **Test** section with a 'Test' button and 'OK'/'Cancel' buttons.

3. 「Test」をクリックしてメールの送信テストが可能です。メールが送信できない場合は、ファームウェアを最新のバージョンに上げてお試し下さい。
4. 「OK」をクリックして設定を保存し、ダイアログ「Recipient Setup」を閉じます。

■手順 5 : スケジュールの設定

ここでは、平日の朝9時から夕方5時(17時)まで、1時間毎にメールを送信するスケジュールを設定します。

1. ダイアログ「Events」の「Schedules」をクリックし、ダイアログの左下にある「Add…」をクリックします。

※ ファームウェア v6.5x では、左ペインにある「Events」 - 「Schedules」をクリックし、「Add…」をクリックします。

2. 表示されたダイアログ「Schedule Setup」で以下の項目を設定します。

Name

スケジュールの名前です。半角英数で任意の名前を設定して下さい。

Type

Daily を選択します。

Start time

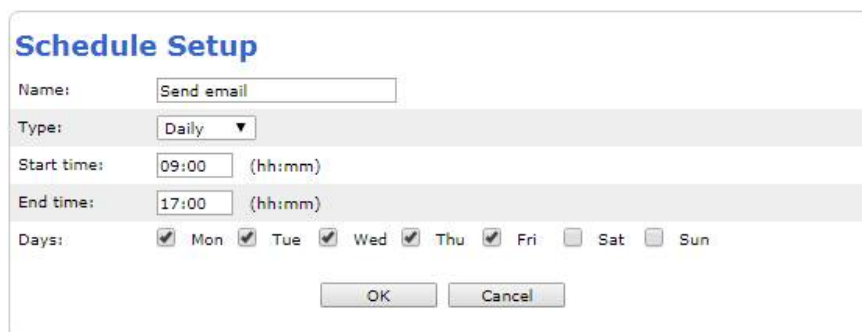
09:00 と入力します。

End time

17:00 と入力します。

Days

Mon, Tue, Wed, Thu, Fri にチェックを入れます。



3. 「OK」をクリックして設定を保存し、ダイアログ「Schedule Setup」を閉じます。
4. 引き続き、ダイアログ「Events」の「Recurrences」をクリックし、ダイアログの左下にある「Add…」をクリックします。

※ ファームウェア v6.5x では、左ペインにある「Events」 - 「Recurrences」をクリックし、「Add…」をクリックします。

5. 表示されたダイアログ「Recurrence Setup」で以下の項目を設定します。

Name

繰り返し間隔に対する名前です。半角英数で任意の名前を設定して下さい。

Recurrence pattern

1 hour (s) とします。

6. 「OK」をクリックして設定を保存し、ダイアログ「Recurrence Setup」を閉じます。

■手順 6：アクションルールの設定

1. ダイアログ「Events」の「Action rules」をクリックし、ダイアログの左下にある「Add…」をクリックします。

※ ファームウェア v6.5x では、左ペインにある「Events」-「Action Rules」をクリックし、「Add…」をクリックします。

2. 表示されたダイアログ「Action Rule Setup」で以下の項目を設定します。

Enable rule

チェックを入れることで本ルールが有効になります。

Name

ルールの名前です。半角英数で任意の名前を設定して下さい。

Trigger

利用するトリガーを選択します。**Time**、**Recurrence** を選択し、ここでは手順 5 で作成した、繰り返し間隔の名前を選択します。

Schedule

スケジュールを選択します。ここでは手順 5 で作成した、スケジュールの名前を選択します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合は「Add…」をクリックして、条件を追加できます。

Type

実行するイベントの種類です。**Send Images** を選択します。

Stream profile

電子メールで送信する画像設定をカメラのデフォルトの設定から変更したい場合は、「New Stream Profile」をクリックして、新たにストリームプロファイルとして登録、選択できます。

Image frequency

複数の画像を送信する場合のフレームレートを指定できます。

Duration

スケジュールで指定した時間の直前の画像を送信することもできますが、通常は **Post-trigger time** にチェックを入れ、継続時間を指定します。

Limit

撮影が開始してから最初の何枚の画像を送信するかを指定します。

Recipient

手順 4 で設定した送信先をリストから選択します。

Subject

送信するメールの表題を入力します。

Additional information

メールの追加情報を入力します。

Images per email

メールに添付する画像枚数を入力します。

Base file name

ベースとなる画像ファイル名を任意で指定します。

また、以下のオプションの選択により、ファイル名の末尾に文字列を付加できます。

- ・ **Add date/time suffix**

画像ファイル名に日付と時刻を付加する場合に選択します。

- ・ **Add sequence number suffix (no maximum value)**

画像ファイル名に、数の上限の無い連番を付加する場合に選択します。

- ・ **Add sequence number suffix up to XX and then start over**

画像ファイル名に数の上限を設けて連番を付加する場合に選択し、上限値を設定します。

- ・ **Overwrite/Use own file format**

常に同名で上書きします。

Action Rule Setup

General

Enable rule

Name:

Condition

Trigger: Start condition only

Recurrence:

Schedule:

Additional conditions

Wait at least before re-running the rule (max 23:59:59)

Actions

Type:

Stream profile:

Image frequency: frame(s) per

Duration:

Pre-trigger time second(s)

While the rule is active

Post-trigger time second(s)

Limit: Send only the first images

Recipient:

Subject:

Additional information:

Images per email:

*Base file name:

Add date/time suffix

Add sequence number suffix (no maximum value)

Add sequence number suffix up to and then start over

Overwrite/Use own file format.

[*See help for more information](#)

3. 「OK」をクリックし、設定を保存し、ダイアログ「Action Rule Setup」を閉じます。

以上